

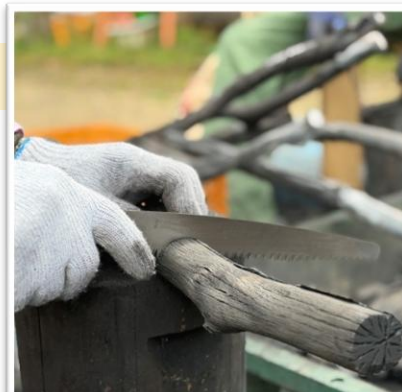
炭焼き 須山 佳則



本日は 10 名の参加で気温も低くなって来たので久しぶりに屋根のない炭窯前で作業を行いました。今回は炭焼き経験者の SA さんから助言をもらい、焚口で初日だけ焚き付け、炭材に燃え移ったのを確認しその後は、ゆっくりと炭材から炭にする方法で行いました。その結果、高野山向け 50kg 一般向け 210kg 合計 260kg の出来高となりました。これからも色々な焼き方を教わり品質向上を図ります

炭材不足により、毎月炭材伐採に参加されます会員メンバーの方々、ペットボトル提供の方々、炭袋を提供の方々にお礼申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。

午後からは炭材入れと焚口の補修を行いました。皆様お疲れさまでした。



里山整備 戸上 佳代子

今回は 2 週間前に倒れ、漁民の森への道を塞いでいたコナラの整理に挑みました。まずはチェーンソーを手に倒木現場に下り、コナラをある程度の長さに切り揃えます。遊歩道では林内作業車が待機。束ねた木材を引き上げ、規定の長さに切り揃えた後テーラーと林内に積み込み薪割り場まで運ばれました。

簡単に書きましたが現場はそう簡単にはいきません。倒木には何本もの蔦が絡みつき、手鋸やナタを駆使して一本一本取り除きながらの作業。さらに引き上げた木材の切り揃えや積み込みも加わり想像以上に体力を奪われる重労働になりました。

そしてもう一つ、炭小屋に下りる途中に枯れかけの栗の木を発見。倒れてからでは遅い。こちら先手を打ち処理することにしました。

どちらもセンスある戦士達の見事な連携プレーが炸裂！こうして今日もげんきの森は守られました。



根来山げんきの森倶楽部

令和 8 年 9 月作業日誌

活動日…令和 8 年 9 月 20 日(日) 9 時 30 分〜

天気…くもり

参加者…倶楽部員 30 人



製材作業 赤阪 進

今月は定例作業参加者が少なく、そもそも親方もお休みかと思ったのですが、Mさんが連絡してくれたところ「朝から農作業を始めて定例会を忘れていた」と急いで来てくれました。5名で作業開始しました。

先月に続き、体験棟横のデッキ作り用板引きです。5cm厚の板6枚取れました。

Hさん考案のチェーンソーを押すのに加え、ロープで引くのも始めました。随分チェーンソー押しが楽になったのですが、横から見ると刃の通り道が歪んでおり、厚いところと薄いところが出来てしまいました。どうやら、チェーンソーをロープで引く高さ（レールの高さで引く）が影響するようです。

午後は、4人での作業になりました。新しい丸太をベツトに乗せるのに、又々ユンボのお世話になりました。Aさん名操作有難うございました。人数が減って始めて分かったのですが、製材作業には最低4名が必要でした。

次からは、汎用性の大きい3~4cmの板を引いていきます。午後からの丸太はかなり太く、引くのにも力がかかりました。刃の切れも悪くなってきたので、2枚引いたところで終了にしました。



ウルシ谷整備 山口 俣

今日はくもりで風もあり比較的作業しやすい一日でした。

男性4人で、イノシシに荒らされてウルシ谷中央にある川の中に落ちた護岸用の丸太と石を川から岸に上げて川の中をきれいにしました。

それから、川の中や岸に生えている草の処理も行いました。

最近はイノシシが出て悪さをし始めているので杭を打って横木に竹をくりつけたイノシシ侵入防止用の柵の補強も行いました。今日は少し早めに終了し、元気なうちに解散としました。



事務局から

秋の長雨でげんきの森はキノコでにぎやかになりました。タマゴタケなどテングタケの仲間やイグチの仲間などがたくさん生えています。

例年、秋の長雨に恵まれず秋のキノコは不作が続いていましたが、ほんとに久しぶりに秋のキノコが豊作です。

これは、げんきの森だけではなく県内あちこちの森でもたくさんのキノコが顔を出しているようです。

この季節のキノコの多くは菌根菌と呼ばれ、周りの樹木の根から栄養をもらって成長してくるキノコたちです。

夏の乾燥で青息吐息だったげんきの森の樹木たちも秋の雨で息を吹き返し、キノコたちに栄養を与える余裕も出てきたのでしょうか。

キノコがあるだけで森歩きが楽しくなってきますね。

岡田 和久

